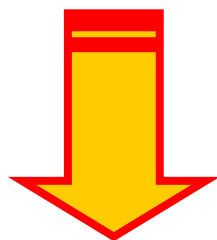


通所、訪問型サービスにおけるC型サービスについて

東久留米市リハビリ専門職検討会
ケア東久留米 館崎 信之

C型事業の目的

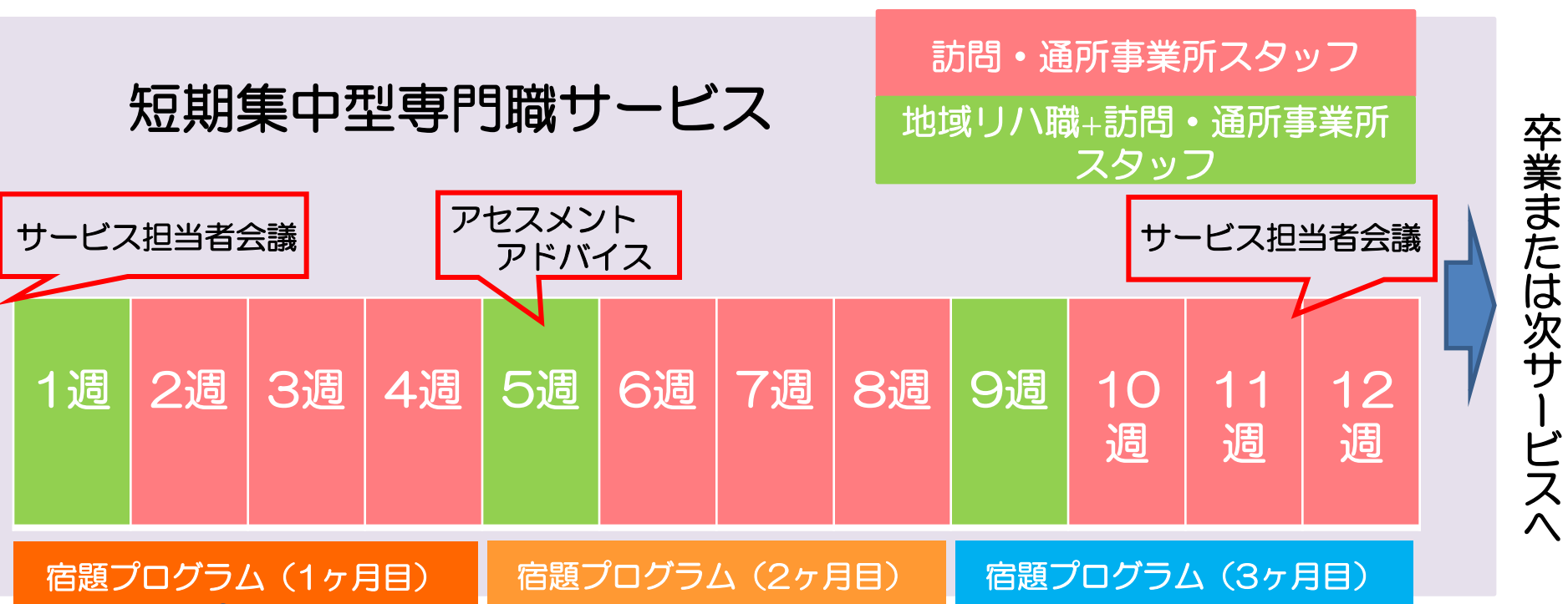
1. 3～6ヶ月間に利用者の改善度合いを見極める
2. 見極めた先に、本当に必要なサービスを判断する



地域包括支援センター、介護支援専門員の方針に
リハビリ専門職の意見を統合してケアプランに反
映していく

C型事業の概要

短期集中型専門職サービス



訪問・通所
スタッフと行
う

- ・3～6ヶ月間の期限付き
- ・地域リハ職は月1回アセスメントを実施
- ・ポイントでリハ職が介入、訪問・通所スタッフがご本人と共にできることを3ヶ月間実施してもらう
- ・C型事業終了時に卒業先のコーディネートを行う

C型事業のイメージ図

・卒業型へ

- ① サービス卒業可能と判断された方
- ② 生活支援継続で卒業可能と判断された方
- ③ C型継続する事で卒業可能な方

・非卒業型へ

- ④ 通所型でステップアップ
- ⑤ 生活支援が継続的に必要な方
- ⑥ 生活支援と身体介護が必要な方

開始～3ヶ月

4ヶ月～6ヶ月

6ヶ月以降

①	リハ職+通所訪問スタッフ	卒業（一般介護予防事業等）	
②	リハ職+通所訪問スタッフ	期限付き生活支援	卒業（一般介護予防事業等）
③	リハ職+通所訪問スタッフ	リハ職+通所訪問スタッフ	卒業（一般介護予防事業等）
④	リハ職+通所訪問スタッフ	通所型サービス	
⑤	リハ職+通所訪問スタッフ	生活支援継続	
⑥	リハ職+通所訪問スタッフ	生活支援+身体介護（従来型）	

C型事業で実際に行っていくこと

- 具体的な目標を一緒に考える
(リハビリが手段になるように)
- 個別指導
(目標が達成できるようにその人に合わせた助言を行う)
- 役割の創設
(その人の状態でできることを一緒に考えプログラムへ)

掃除を例に挙げて・・・

『高い（低い）所の掃除がしたい』

『掃除を毎日して体力をつけたい』

『昔のものを整理したい』

『掃除機が重く運べない』

『床拭きや窓拭きの姿勢がとりにくい』

『整理整頓、分別収納ができない』

訪問・通所スタッフと行うプログラム例

- バランス、かがむ動作、体力向上する全身体操等の効果的な運動プログラムの提案
- どこまでできるか見極め、掃除工程を単純化、習慣化する働きかけ
- 道具の選定、住環境調整など本人に適した方法を選定
- 本人や家族の動機付け

C型事業の実施に向けて

- モデル事業を10月以降に予定
 - ➡ 連絡シートの確認、実施可能性の確認
- モデル事業の実施数に関して
 - ➡ 各地区、各参加事業所で数ケース実施